

10 花壇づくりについて



「推奨」



「発展」

(1) 花壇づくりのすすめ

季節の花々が伸び伸びと育つ、手入れの行き届いた公園の花壇は、たとえばその公園の魅力であらわすバロメーターのようなものではないかと思います。

明るい花壇の花を見て、ここでは安心して子どもと遊べると考える人がいるかもしれませんが、ジュースを手にした利用者も、その空き缶を置き去りにすることを、少しためらうようになるかもしれません。

また、こうした花壇の手入れを通じ、ともに汗をかき、楽しみながら働く仲間を作ることができるのも、花壇づくりの魅力ではないでしょうか。

ここではこうした花壇作りの取り組みを、実際の事例をまじえ、紹介いたします。

(2) 公園での身近な花壇づくりのポイント

公園の花壇は「みんなの花壇」です

公園は「まちの庭」であり地域の皆さん共有の財産です。

公園愛護会で花壇づくりをする際も、「まちのみんなの共有財産」として、
* 公園の利用者や周辺にお住まいの方の理解を得る
* 参加したいと思った人が気軽にかかわることができる
といった気配りが大切になってきます。



仲間に声をかけましょう



「推奨」



「注意」

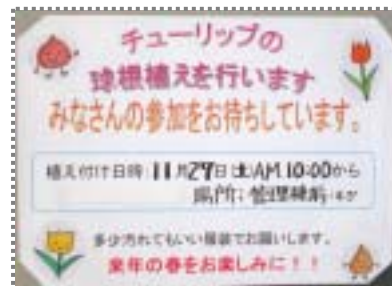
土作りや夏の水やりなど、花壇作りには大勢の人手が必要になる作業もあります。
また、まちの「花づくり名人」のような方がメンバーに加われば、花壇作りのアイデアや、作業の内容などがぐっと本格的になります。

次ページではこうした仲間集めに関する一工夫の事例を紹介します。

【看板作戦】

実施日の1～2週間前に、花壇の周りの目に付く場所や掲示板等に看板を設置し、参加者を募集します。

なお、「当日飛び入り歓迎」方式にしておくと、当日に参加者が少ないようなことがあっても、公園に遊びに来ている利用者などに声をかけることで、参加者を確保できるという効果があります。
(特に親子連れなどが気軽に楽しく参加してくれるそうです)



北部公園緑地事務所の看板

【そのためには】

看板や資料の作成には「愛護会文例集」「愛護会イラスト集」(5 - 3)をご活用ください。



【花壇づくりクラブ作戦(他都市の事例)】

「発展」

花壇作りが軌道に乗ってくると、水やりや花の手入れなど、通常のアソビ会の活動と活動時間や回数が異なる作業が増えてきます。

そこで、こうしたきめ細かい活動をやってもいいという有志を集め、アソビ会の中に「花壇づくりクラブ」をつかって活動している例があります。

【こんないいことがあります】

花壇作りの計画や、道具の準備などに関する担当を定め、分業で効率よく活動を行うことができます。

花作りに詳しい人材に声をかけ、先生役になってもらうと花苗の育成や、花壇の計画づくりなどといった本格的な取り組みがやりやすくなります。

ハーブを育てて、ハーブティーのパーティーを開いたり、地域の花壇づくりの有志達と花を咲かせるコツを交換しあったりといった活動の広がりも期待できます。

【こんなことに注意が必要です】

一部の限られた人の楽しみになってしまうと、「公園の私有化」の問題が起こりかねません。「みんなの花壇」にするための工夫が必要です。

花壇は全体の見た目も大切です。発泡スチロールの箱などは避けましょう。



(3) 花壇に植える花について


花壇づくりを通じて多く寄せられるのが、花苗をどのように入手するかということです。「愛護会費で花苗を買くと、とても足りない」、「花や花壇の材料を手に入れられないか」といった「花苗」や「資材」に関するお困りの声です。


愛護会支援の A コースを申し込んでいただいた愛護会には、手入れのしやすい花壇の設置や花苗の提供を支援します(5 - 9)。

A コース対象

しかし、これらの支援も予算の都合もあり、必ずしも愛護会の皆様のニーズをすべて満たすわけにはいかない場合もあります。

ここではいくつかの取り組みの事例を「参考例」として紹介させていただきます。皆様の愛護会で独自の工夫をする際の参考としてご活用いただければ幸いです。

参考例 1 種をまく	難しさ 事前の準備
 <p data-bbox="354 1124 504 1189">杉田長作公園 のナノハナ</p>	<p data-bbox="616 853 1374 963">花苗を 100 鉢買うのには、それなりのお金がかかりますが、花の種を 100 粒ならば、費用的な負担はさほど大きくなりません。</p> <p data-bbox="616 1010 1410 1077">また、写真のように、大きな面積を一時に花で飾るような場合にも有効な方法です。</p> <p data-bbox="676 1126 1267 1191">例：ヒマワリ、コスモス、ナノハナ、マリーゴールド、サルビア、アサガオ など</p>

参考例 2 花苗をみんなで 育てる	難しさ 事前の準備
<p data-bbox="292 1438 1010 1507">公園愛護会によっては、花壇に植えるための花苗を、自分たちで育てているところもあります。</p> <p data-bbox="292 1512 943 1585">育て方はさまざまですが、次のようなやり方をとっているところが多いようです。</p> <p data-bbox="300 1630 432 1664">【方法 1】</p> <p data-bbox="319 1668 1032 1738">プランターやビニールポットなどを使って、会員の家庭で育てたものを公園の花壇に植える</p> <p data-bbox="323 1783 849 1816">(スペースの無い公園向けの方法です)</p> <p data-bbox="300 1861 432 1895">【方法 2】</p> <p data-bbox="349 1899 1031 1933">公園の一部に花苗を育てるためのスペースを設ける</p> <p data-bbox="323 1977 1149 2011">(公園の利用や美観を妨げない位置に設置する必要があります。)</p> <p data-bbox="319 2013 1410 2087">場所等については土木事務所(大規模な公園等は公園緑地事務所)にご相談ください。)</p>	

参考例3 花苗基金を作る

難しさ
事前の準備



能見台中央公園
花壇の花を装花にして
一人暮らしのお年寄りに
プレゼント

花苗などを購入するための活動資金を集めるための基金を公園愛護会で作った例があります。

ユニークなのは、お金ではなく、ショッピングセンター等で買い物をしたときにもらえる「ポイント」を集めたということ。

募金をするほうもお金より気軽なので、かえって協力しやすくなるのかもしれないね。

参考例4 花苗のためのイベントを開催する

難しさ
事前の準備



片倉うさぎ山公園
地域の人が集まるフリー
マーケット。子ども向けの
服などが人気です。

活動資金を集めるためのもうひとつの方法としては、バザーやフリーマーケットといったイベントがあります。

花苗の資金が集められることはもちろんですが
そのほかにも

* 集まった人たちに花壇作りを大々的にPRできる

* 人が公園に集まることで、仲間作りができる

といった利点も考えられます。

成功した事例などを見ると、まずは、地域のバザー等に出店してみて、開催のノウハウを現場で学んでから公園で実践してみるという「順番」もポイントのようです。

【お願い！】

このほかにも、愛護会独自の花苗作りのアイデアがございましたら、どうぞ環境創造局環境活動事業課までご紹介ください。愛護会マニュアルや愛護会通信などを通じ、ほかの愛護会の皆様に紹介させていただきたいと考えております。